



たかつ教育内容系統表<高等部 ver.1.0>

高等部

生活面

A ADL

- 1 食事
- 2 排泄
- 3 清潔
- 4 整理
- 5 身なり

ADL
衛生面
日常生活
あそび

B 活動

- 6 安全
- 7 日課
- 8 遊び
- 9 手伝い
仕事

学習面

C 体育・運動

- 10 基礎的運動
- 11 体づくり
- 12 器械器具
- 13 走・跳
- 14 水遊び
ボールゲーム
武道
ダンス
- 15 保健

D 国語

- 16 読む
- 17 書く
- 18 聞く
- 19 話す

E 算数・数学

- 20 数量の基礎
- 21 数と計算①
- 22 数と計算②
- 23 数と計算③
- 24 数と計算④
- 25 図形①
- 26 図形②
- 27 測定
- 28 変化と関係
- 29 データの活用
- 30 金銭の扱い

各教科
認知
言語
運動
作業面

F 音楽

- 31 音楽①
- 32 音楽②

G 図工・美術

- 33 図工美術
- 34 絵の発達

L 外国語活動

- 52 外国語

H 生活/理科

- 35 生活
- 36 理科①
- 37 理科②

I 生活/社会

- 38 きまり
- 39 社会のし
- 40 社会①
- 41 社会②

J 職業・家庭

- 42 職業生活
- 43 情報機器
- 44 実習
- 45 家庭生活
- 46 衣食住
- 47 消費生活

社会性

K 対人関係

- 48 人との関わり
- 49 役割
- 50 社会性の発達
- 51 心理的安定

たかつ個別教育計画<教育内容系統表>について

- この<教育内容系統表>は、学習指導要領（平成29年度公示）に基づき、各教科、自立活動及び認知、言語、知覚、運動、社会性の発達段階を基に、教育内容を系統的に整理したものです。
- また、個別教育計画は、教育課程に基づき、児童生徒個々の障害の状態、学習・生活面の課題から、重点的に取り組む内容を具体化するために作成するものです。
- この系統表の学習内容を基に、系統的な個別の目標、具体的な手立てを検討し、個別教育計画に反映させていきます。
- 小・中学校の学習指導要領は、学習内容を学年ごとに示していますが、特別支援学校では小学部3段階、中学部2段階、高等部2段階の計7段階で示しています。
- たかつ教育内容系統表は、この段階を基に作成されていますが、一貫した系統的な学習を行うため、小学部から高等部まで統一して使用します。そこで、段階を次のように示しています。

小学部1段階…T1：様々な学習活動を教師と一緒に行う

小学部2段階…T2：主に教師の援助を求めながらもできる限り自分の力で行っていく

小学部3段階…T3：できる限り自分の力でおこなっていく

中学部1段階…T4：主体的に活動に取り組み、経験したことを活用したり、順番を考えたりする

中学部2段階…T5：主体的に活動に取り組み、目的に応じて選択したり、処理したりするなど工夫する

高等部1段階…T6：卒業後の家庭生活・社会生活及び職業生活を考慮した基礎的な内容

高等部2段階…T7：卒業後の家庭生活・社会生活及び職業生活を考慮した発展的な内容

* この系統表は、よりよいものにするために少しずつバージョンアップをしています。そのため、項目を移動したり、内容を組み替えたりすることで、1つのページの中で[番号]が繋がっていない場合がありますが、誤植ではありません。先生方の不断の検討の軌跡ととらえてください。

C 体育<体づくり>

領域	項目	T6	T7
体づくり運動遊び／体づくり運動	体ほぐしの運動	<p>体づくり運動</p> <p>[1500]・伸び伸びとした動作で用具などを用いた運動を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自他の課題を発見する ・その解決のための方策を工夫する ・仲間と考えたことを他者に伝える 	<p>体づくり運動</p> <p>[1501]・ラジオ体操や、地域で親しまれている曲に合わせて体操を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動を効率よく（バランスよく）組み合わせて行う ・その解決のための方策を仲間と思考判断する ・目的や状況に応じて他者に伝える
	体の動きを高める運動	<p>[1502]多様な運動経験を通して、きまりを守り、仲間と協力し、場や用具の安全を確保し、自主的に運動例) ・曲げる、伸ばす等の意味を理解して適切なフォームでストレッチや体操を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の状況を判断し、適切な力で補助を行う ・補助の力を利用して、より身体が伸びるようにストレッチを行う ・正確な動きを理解して、ラジオ体操等の運動を行う ・用具を利用した運動では、どの部位を使用しているかを理解して行う ・走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、または自己で決めた時間や回数を持続して行う 	<p>[1503]多様な運動経験を通して、自己の役割を果たし、見通しをもって自主的に運動を行う</p> <p>例) ・関節等の身体的機能を理解し、曲げる、伸ばす等、適切なフォームでストレッチや体操を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の反応を観察し、より適切な力とタイミングで補助を行う ・補助の力を利用して、より身体が伸びるようにフォームを意識して、ストレッチを行う ・正確な動きを理解して、身体を大きく使ってラジオ体操等の運動を行う ・用具を利用した運動では、どの部位を使用しているかを理解して正確に丁寧に行う ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動を行う

領域	項目	T6	T7
器械・器具を使った運動／遊び／器械運動	固定施設 平均台	[1504] 体操系やバランス系の基本的な技に取り組み、それらを安定して行ったり、一連の動きを滑らかに行ったりする ・前方走 ・片足水平バランス	[1505] 体操系やバランス系の技に取り組み、それらを安定して行ったり、それらの発展技に取り組んだりする ・体操系歩走 ・体操系跳躍 ・バランス系ポーズ・ターン
	マット	[1506] 回転技と倒立技、それらの技を繰り返したり、組み合わせたりする。 ・補助倒立 ・補助倒立前転	[1507] 回転技と倒立技、それらの技を滑らかに安定して行ったり、バランスの崩れを復元したりする。 ・伸膝後転 ・側方倒立回転
	鉄棒	[1508] 逆上がり。 前方かかえ込み回り。	[1509] 前方支持回転。 後方支持回転。
	跳び箱	[1510] 抱え込み跳び	[1511] 伸膝台上前転。

C 体育<走・跳>

領域	項目	T6	T7
走・跳	短距離・リレー	<p>[1512] 陸上競技についての自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50～100m程度の短距離走をする。 ・リレーにおいて、スムーズなバトンゾーンでの受け渡しをする。 	<p>[1513] 陸上競技についての自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウチングスタート ・100～200m程度の短距離走をする。 ・リレーにおいて、バトンの受け渡しでタイミングを合わせることで、タイムを短縮する。
	長距離走	<p>[1514] 一定のペースで走り続ける。</p>	<p>[1515] 目標タイムを達成するペース配分を自己の技能・体力に合わせて設定する。</p>
	走 ハードル	<p>[1516] 第一ハードルを決めた足で踏み切って走り越える。</p> <p>40～50m程度のハードル走をする。</p>	<p>[1517] 50～80m程度のハードル走をする。その間にハードルを5～8台程度置く。</p>
	走 び 幅 跳	<p>[1518] 踏切に合わせた助走を行い、力強く跳ぶ。</p>	<p>[1519] 助走リズムを意識して加速し、踏切後には空中動作を工夫し着地する。</p>

領域	項目	T6	T7
水遊び/ 水の中での 運動	水泳	[1520] 手のかき、足のけり、呼吸動作を合わせた一連の動きを行う ・クロール ・平泳ぎ	[1521] 手や足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐ。 ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ
ボール遊び/ ボールを 使った 運動/球技	球技	[1522] ルールを理解し、仲間と協力して安全にゲームを行う。 ・ティーボール ・サッカー ・バスケットボール ・ソフトバレーボール ・バトミントン ・卓球 ・ソフトボール	[1523] 目的に応じた技能を身につけ、仲間と協力したり戦術を考えたりしてゲームを行う。
武道	柔道 剣道 相撲	[1524] 技の正確な習得。 ・各種目における攻守の技の習得。	[1525] 実践において攻守の技を駆使できる。
表現遊び/ 表現運動/ ダンス	ダンス	[1526] 感じを込めて踊ったり、みんなで踊ったり、ダンスの特性や由来・イメージを捉えた表現をして踊る。 ・創作ダンス ・フォークダンス ・現代的なリズムのダンス	[1527] 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったり、ダンスの特徴と表現の仕方についてイメージを深め、表現をして踊る。 ・創作ダンス ・フォークダンス ・現代的なリズムのダンス

領域	T6	T7
	健康・安全に関する事項	
	[1528] 心身の発育・発達, 傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに, 健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付ける。	[1529] 心身の発育・発達, 傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに, 健康で安全な個人生活及び社会生活を営むための目的に応じた技能を身に付ける。
	[1530] 健康な生活をする上で必要な知識として運動、食事、休養及び睡眠を理解し、実生活に取り入れることができる。	[1531] 健康な生活をする上で必要な知識として運動、食事、休養及び睡眠を理解し、実生活で目的をもって計画的に生活する。
	[1532] 成長に伴う心身の変化があることや男女差があることを理解し、場面に応じた必要な行動をとる。	[1533] 成長に伴う男女の身体的変化を理解し、適切な関りがとれる。
保健	[1534] 喫煙、飲酒、薬物乱用についての知識を身につけ、自分の体を守る。	[1535] 喫煙、飲酒、薬物乱用についての知識を身につけ、適切な対処ができる。
	[1536] 気持ちを他者に相談したり改善する方法を考えたりすることができる。	[1537] ストレスへの適切な対応の方法を知り、活用する。
	[1538] 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝える	[1539] 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える
	[1540] 緊急時において、一定程度自力で対応できる知識を習得し、支援を求めるなど必要な行動がとれる。	[1541] 緊急時において、自力で対応できる知識を習得し、支援を求めるなど必要な役割を意識した行動がとれる。

領域	項目	T6	T7	
読む	知・技	言我が文化の 語が国化の	[1542] 百人一首やかるた遊びを通して古語に触れる。	[1543] 古語で書かれた言葉を読む。 例) てふてふ、らいてう、けふ、あ、ゑ
		読書	[1544] 図書館や書店で自分の好きな分野の本を探して読む。 例：図書室を活用する	
	思・判・表	構造と内容の把握	[1545] 様々な読み物を読み、登場人物の相互関係や心情について、叙述をもとに捉える。	[1546] 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。 例：自分や周りの人達と比べる 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。 例：暗示的な表現に気付く。
			[1547] 段落相互の関係に着目しながら読み、原因と結果、主張とその根拠などの関係を捉える。	[1548] 文章を読んで、事実と感想、意見を区別し文章全体の構成を捉え、要旨を把握する。
		形成の	[1549] 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつ。	[1550] 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。
		読み	[1551] 実生活で扱う文章を読んで、自分に必要な情報を選択してメモを取る。 (例：薬の説明書、家電の取扱説明書、診察申込書、問診票、定期券申込書、住民票申込書)	[1552] 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 (例：納品書、請求書、領収書、給与明細、広報、回覧板、電子メール)
	文字学習 (読み)	[1553] 小学5年生修了程度の漢字を読む * 漢字検定6級程度	[1554] 小学校6年生修了程度の漢字を読む * 漢字検定5級程度	

領域	項目	T6	T7	E 国語 (書く)
書く (書写)	文字学習	[1555] 小学校高学年～中学校で習う漢字を書く	[1556] 内容に応じて漢字等を交えて文章を正確に書く	
	単語・文章	[1557] 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つ。	[1558] 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書く。 例：分からない漢字は辞書等で調べる。 ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにする。 例：接続詞 ・文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解する。 例：始め、中、終わり	
	思・判・表	題材の設定 情報の収集 内容の検討	[1559] 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整える。	[1560] 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
		構成の検討	[1561] 目的によって時系列または原因・結果の順で文章を構成することを選ぶ。	[1562] 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考える。
		記述	[1563] 目的や意図に応じて、具体的に詳しく書いたり簡略に書いたりするなど、内容の伝わりやすさを意識して工夫する。 例：略語	[1564] 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
		推敲	[1565] 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認する。 例：話し言葉と書き言葉を区別する 例：お礼状	[1566] 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
		共有		[1567] 文章に対する感想を伝えあい、表現の個性を認め合う。
				[1569] 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。

領域	項目	T6	T7	
聞くこと	知・技	言葉の働き	[1570] 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたこと思ったことを伝える働きがあることを知る。	[1571] 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを知る。
		語彙	[1572] 必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまり（カテゴリー）があることを理解する。	[1573] 必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにする。
		文や文章	[1574] 接続する語句の役割、段落の役割について理解する。 例：作文を書く	[1575] 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解する。
		情報と情報の関係 情報の整理	[1576] 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解する。	[1577] 原因と結果など、情報と情報との関係について理解する。
	思・判・表	内容の把握	[1578] 社会の中で関わる人の話などを、話し手の意図に注意して聞き、話の内容を捉える。 例：メモを取る（校外学習の内容・・・目的地、日時等）	[1579] 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの内容を中心を捉え、その内容を捉える。

領域	項目	T6	T7	
話すこと	話し言葉 言葉遣い	[1580] 相手や場面に応じた言葉遣いのルールがあることを知る。 例： ・電話連絡のマナーについて	[1581] 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れる。 例：会社の給料を聞くときは「よろしければお伺いしたいのですが」と聞く。 例：相手の人が作業をしている時は、「今お時間よろしいですか」と聞く。	
		[1582] 尊敬語や謙譲語の語彙を使い分ける。 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話す。	[1583] 話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付く。 例：話し言葉：じゃない 書き言葉：ではない	
	知・技	情報と情報の関係 情報の整理	[1584] 自分の経験を説明する時に「事実」「感想」「その理由」に分けて話す。 例：「健二さんは、走るのが速い」と「健二さんは、100メートルを13秒で走る」の違い	[1585] 原因と結果など、情報と情報との関係について理解し使う。 例：「カラスは黒い」≠「黒い鳥はカラスである」
	我が国の言語文化	[1586] 生活に身近な慣用句を知ったり使ったりする。 例：好きな慣用句を発表する	[1587] 親しみやすい古文などの文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使う。 例：歌に使われている慣用句の意味を調べる	
	思・判・表	表現	[1588] 話し合いの時に、司会者、提案者、参加者の役割をとることができる。 ・司会者として互いの考えの共通点や相違点を確認しながら、進行する。	[1589] 互いの立場や意図を明確にししながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。
		話題の設定	[1590] 目的に応じて話題を決め、集めた材料を比較するなど伝え合うために必要な事柄を選ぶ。	[1591] 目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討する。
		内容の把握	[1592] 相手にとってのわかりやすさを意識して話す順序と内容を考える。 例：時系列で話す	[1593] 自分の立場や結論が明確になるように、話の内容を構成する。 例：結論から話す。

領域	項目	T6	T7
数と計算③	整数の表し方 知・技	<p>[1594] 万の単位を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1万は1000が10個集まった大きさ、9999より1大きい数であることがわかる。 	<p>[1597] 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2で割り切れる数が偶数、割り切れない数が奇数であることがわかり、偶数、奇数を挙げることができる。
		<p>[1595] 10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びその表し方の理解を深める。</p> <p>例) 位取りを理解する…「20」の10倍は「0」を1つつけて「200」、100倍は2つつけて「2000」と表し、1/10は「0」を1つとって「2」となることがわかる。</p>	<p>[1598] 約数、倍数について理解する。</p> <p>例：12を割り切ることができる整数が12の約数であることがわかり、全て答えることができる。</p> <p>8×□で表される整数の集合が8の倍数であることがわかり、8の段の九九の範囲を超えて答えることができる。</p>
		<p>[1596] 億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深める。</p> <p>1000000000が1億、10000000000000が1兆であることがわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 13桁の数を読むことができる。 <p>例「3040020000000」は「3兆400億2000万」</p>	
	思・表・判	<p>[1599] 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かす。 	<p>[1600] 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かす。</p>
数と計算③	整数の加法	<p>[1601] 大きな数の加法の計算が、2位数などについてできることを理解すること。またその筆算の仕方について理解する。</p> <p>例) 3位数+3位数などが増えても同じように計算できることがわかる。</p>	
		<p>[1602] 加法の計算が確実にでき、それらを適切に用いる。</p> <p>例) 3位数+3位数の繰り上がりのある足し算が確実にできる。</p>	
		<p>[1603] 大きな数の減法の計算が2位数などについて基本的な計算を基にしてできることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆算についての仕方を知る。 <p>例) 3位数-3位数などが増えても同じように計算できることがわかる。</p>	
		<p>[1604] 減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いる。</p> <p>例) 3位数-3位数の繰り下がりのある引き算が確実にできる。</p>	

領域	項目	T6	T7	E 図形 ②	
図形②	平面図形	[1668] 平行四辺形、ひし形、台形について知る。 * 平行四辺形＝向かい合った二組の辺が平行な四角形 ひし形＝四つの辺の長さが等しい四角形 台形＝向かい合った一組の辺が平行な四角形	[1669] 縮図や拡大図について理解する。 * 縮図や拡大図は対応している辺の長さの比が一定で角が同じであることがわかる。		
		[1670] 図形の形や大きさが決まる要素について理解する。			
		[1671] 図形の合同について理解する。 * 図形の合同とはひびいたり重ねられる図形のこと。 例：合同な図形探し。	[1672] 対称な図形について理解する。 * 二等辺三角形や正方形、長方形、円など一本の直線で折ってひびいたり重ねられる図形のことを対称な図形ということがわかる。		
		[1673] 三角形や四角形など多角形について簡単な性質を理解する。 * 多角形は直線で囲まれていること、辺や角が3つ以上であることがわかる。			
		[1674] 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知る。 * 正多角形は円の内側にひびいたりする円の外側にひびいたり接する性質がある。	[1675] 円周率の意味について理解し、それを用いる。		
	面積	[1676] 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直す。 * 正四角形とそれ以外の四角形の違いに気づく。	[1677] 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かす。	[1677] 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かす。	
		[1678] 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見出し、その性質を筋道を立てて考え説明する。			
	位置	[1679] 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解する。 * 長方形や正方形の面積の求め方から三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を考えて、公式を導く。	[1680] 円の面積の計算による求め方について理解する。 * 円の面積は(半径) \times (半径) \times (円周率)で求めることを理解する。		
		[1681] 平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察する。	[1682] 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見出すとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導く。		
	立体図形	[1683] 立方体、直方体について知る。 例：立方体、直方体のものを具体的に挙げる。	[1684] 身の回りにおける形について、その概形を捉え、およその面積などを求める。		
[1685] 直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解する。 例：直方体の向かい合う面は平行で隣合う面は垂直であるなどがわかる。					
[1686] 見取図、展開図について知る。 例：立体図形を切り開き展開図を作る。					
[1687] 基本的な角柱や円柱について知る。 * 向かい合う平行な面が円(多角形)でそれと垂直な面が長方形であるのが円柱(角柱)である					
[1688] 図形を構成する要素及びそれらの位置に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見出すとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直す。		[1689] 図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かす。			
体積	[1690] ものの位置の表し方について理解する。 * 平面のもの位置は、縦と横の二つの要素、空間のもの位置は縦・横・高さの三つの要素であらわされることがわかる。	[1691] 円の面積の計算による求め方について理解する。			
	[1692] 平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察する。	[1693] 図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。			
体積	[1694] 体積の単位(立方センチメートル)立方メートル(m ³)について理解する。 例：縦1cm、横1cm、高さ1cmの立方体の体積は1cm ³ 。 縦1m、横1m、高さ1mの立方体の体積は1m ³ 。	[1695] 立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解する。 * 立方体、直方体の体積は、縦 \times 横 \times 高さであることがわかる。			
	[1696] 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解する。 * 角柱や円柱の体積は底面積 \times 高さであることがわかる。				
	[1697] 体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えると同時に、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考える。	[1698] 図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を見出すとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導く。			

領域	項目	T6	T7	E
変化と関係	伴って変わる2つの数量	知・技	[1699] 簡単な場合について、比例の関係があることを知る。 例：横の長さが6cmと決まっている長方形の縦の長さとの面積の関係は比例関係がある。	[1700] 比例の関係の意味や性質を理解する。 例：二つの数量の一方がm倍になればそれと対応する他方の数量もm倍になる。
			[1701] 比例の関係をを用いた問題の解決の方法について理解する。	[1702] 反比例の関係について理解する。 例：二つの数量の一方がm倍になればそれと対応する他方の数量が1/m倍になる。
			[1703] 伴って変わる二つの数量を見いだしてそれらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考える。	[1704] 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かす。
	2つの数量の関係	知・技	[1705] 速さなど単位意味及び表し方について理解し、それを求める。 例：(速さ) = (長さ・距離) ÷ (時間)	[1706] 比の意味や表し方を理解し、数量の関係性を比で表したり、等しい比を作ったりする。 例：同じコップを用いて2種類の液体を3杯と5杯で混ぜ合わせたり、6杯と10杯、9杯と15杯の割合で混ぜたものは同じ濃さである。
			思・判・表	[1707] 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常的に生かす。
		知・技	[1708] ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解する。 例：「定価の20%引き」など生活の中で用いられる表し方を理解し金額を求める。	
			[1709] 百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求める。	
		思・判・表	[1710] 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かす。 例：速さを、単位時間あたりに移動する長さとして捉えたり、一定の長さの移動に要する時間として捉える等。どちらかの量をそろえて、もう一方の量の大小で比べると比較しやすい。	
			[1711] 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かす。 例：打率やシュート率、勝率などをどちらの方が上手か比べる。	

領域	項目	T6		T7			
データの活用	表	表やグラフによる整理		表やグラフによる整理			
		知・技	[1712] 数量の関係を割合で捉え、円やグラフや帯グラフで表したり、読んだりする。	・どのようなyデータをどのように集めるのかを考え分別整理しグラフごとに表し問題を解決する。	[1713] 目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解する。		
			[1714] 円やグラフや帯グラフの意味やそれらの使い方を理解する。	・集めたデータから割合を計算し円グラフや帯グラフに表す。			
			[1715] データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知る。	・円グラフや帯グラフで表した方がいい場合を考える。	[1716] 度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの使い方を理解する。	・度数分布を表す表や様状グラフで表した方がいい場合を考える。	
		思・判・表	[1717] 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多目的に捉え考察する。		[1718] 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察する。		
	平均	知・技	[1719] 平均の意味や求め方を理解する。	・全てを足し合わせたものを均分することで平均化求められる。	[1720] 代表値の意味や求め方を理解する。	・代表値は「平均値」「中央値」「最頻値」のこと。	
		思・判・表	[1721] 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かす。				
	確率	知・技			[1722] 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの使い方を理解する。	・例：A～Dの4人が一列に並ぶ場合はAが先頭である場合を考え起こり得る場合を図に書いて調べる。B.C.Dが先頭に立つ場合も同様に考える。	
		判			[1723] 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察する。		

領域	項目	T6	T7
音楽づくり	知識技能	[1724]曲想や音楽の構造、楽譜の見方などについて気づくとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作。身体表現の技能技術を身につけるようにする。	[1725]曲想や音楽の構造、楽譜の見方などについて理解するとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作。身体表現の技能技術を身につけるようにする。
	思考力 判断力 表現力	[1726] 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを自分なりに見出しながら音楽を味わって聴くことができるようになる。	[1727] 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを自分なりに評価しながら味わって聴くことができるようになる。
	学びに向かう力、 人間性等	[1728] 主体的、協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	[1729] 主体的、協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
表現	知識技能	[1730] 曲想と、音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりに気づく	
		[1731] 声の表情や響きと発声とのかかわりに気づく	[1732] 声の表情や響き及び言葉の特性と発声とのかかわりに気づく
		[1733] 範唱を聴いたり、簡単な楽譜を見たりして歌う技能	[1734] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、体の使い方などの技能
		[1735] 呼吸、発音の仕方に気を付けて自然な歌い方で歌う技能	[1736] 創意工夫を生かし、全体の響きや伴奏、各声部の声や流れを聴きながら、それに合わせて歌う技能
		[1737] お互いの歌声や副次的な旋律、伴奏に気づき、声を合わせようとしながら歌う技能	
	思考力 判断力 表現力	[1738] 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する	
器楽	知識技能	[1739] 曲想と音楽の構造について理解する	
		[1740] 多様な楽器の音色と演奏の仕方とのかかわりについて理解する	
		[1741] 範奏を聴いたり簡単な楽譜を見たりして演奏する技能	[1742] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、体の使い方などの技能
		[1743] 音色や響きに気を付けて打楽器や旋律楽器を演奏する技能	[1744] 全体の響きや各パートの音などを聴きながら、適切に合わせて演奏する技能
		[1745] 各パートの楽器の音や伴奏の音に合わせて演奏する技能	
	思考力 判断力 表現力	[1746] 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること	[1747] 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること

領域	項目	T6	T7	F 音楽 ②	
音楽づくり	知識技能	[1748] 色々な音の響きや組み合わせの面白さを知る (例)様々な楽器を組み合わせた合奏、コード感を知る。	[1749] 音のつながり方の特徴を知る (例)合奏、O部合唱。メロディーが様々な楽器につながる		
		[1750] 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を知る (例)歌唱、ブレスの位置	[1751] 音素材の特徴及び音や楽器の重なりや反復、変化、対照などの構成上の特徴を知る (例)ボレロ		
		[1752] 創意工夫を生かした表現で、リズム、ハーモニーを作るために必要な音の選択や組み合わせなどの技能を身につける	[1753] 創意工夫を生かした表現で、リズム、ハーモニーを作るために必要な音の選択や組み合わせなどの技能を深める		
	思考力 判断力 表現力	[1754] 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 楽器を選択し演奏すること (例)提示された楽器の中から曲に合わせて選ぶ	[1755] 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 使用する楽器を自分で考え演奏すること (例)提示された曲に対して使う楽器を考える		
		身体表現	[1756] 曲想と音楽の構造との関わりに気づく (例)We will rock you等の簡単なリズム		[1757] 曲想と音楽の構造との関わりに気づく (例)複雑なリズムのある曲
			[1758] 曲想と体の動きの関わりに気づく		[1759] 曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりがわかる
	[1760] 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 (例)休符や付点のあるリズム		[1761] 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 (例)さらに複雑なリズムや変調のある曲		
	[1762] 様々な動きを組み合わせるとまとまりのある表現をする技能 (例)エイサーなど同じ動きのダンス		[1763] 様々な動きを組み合わせたり、即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能		
	[1764] 友達と動きを組み合わせると表現する技能 (例)振付がそれぞれ異なるダンス		[1765] 友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現したりする技能		
	[1766] 身体表現の知識技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫する		[1767] 身体表現の知識技能を生かして、身体表現を創意工夫する		
鑑賞	知識技能	[1768] 曲想やその変化、音楽の構造について理解する	[1769] 音楽の特徴とその背景になる文化や歴史などのかかわりを理解する (例)沖縄の伝統音楽、使用される楽器や国の歴史		
	思考力 判断力 表現力	[1770] 鑑賞についての知識を得て、曲や演奏の良さを見出し、曲全体を味わって聴く (例)各国の音楽を聴く	[1771] 鑑賞についての知識を得て、曲や演奏の良さを自分なりに考え、曲全体を味わって聴く		
共通事項	知識技能	[1772] 音楽を形作っている要素とそれらにかかわる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること			
	思考力 判断力 表現力	[1773] 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。			

領域	項目	T6	T7	G	
美術	内容	[1774] 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ること 例) 様々な形、色、材料等の特徴などを基に思い浮かべた情景を作品にする機会の設定。	[1775] 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ること 例) 様々な形、色、材料等の特徴などを基に思い浮かべた情景を作品にする機会の設定。	美術	
		[1776] 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を工夫して表すこと 例) ポスター、案内表示、装飾等	[1777] 材料や用具の特性の生かし方などを身につけ、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すこと 例) ポスター、案内表示、装飾等		
	表現	描く	[1778] 自然や生物、出来事等に対して完成を豊かに働かせることによって感じ取った形や色彩の特徴、それらがもたらす様々なよさ、雰囲気、情緒、美、また体験などを元に感じたことや考えたこと、実際には有り得ないこと、自分の思いなどを思い浮かべ、表現する。		[1779] 感性や想像力を豊かに働かせながら対象や事象を深く見つめ、感じ取った形や色彩などの特徴やイメージ、対象の内面や全体の感じ、生命感や心情などから生じた思いや考えを表現する。 例) 自画像では表面的な形・色だけではなく、自分の気持ちや心の中を見つめ、自己理解、価値観に気づく。
			方法		絵、版画（紙版、木板、ゴム板、スチレンボード） 目的や用途に合わせたポスターや表示物のデザイン
		材料・用具	水彩絵の具、ポスターカラー、墨、色鉛筆、ペン、パステル、色紙など 塗装用具、接着剤、彫刻刀、簡易な木材・金属加工用具、糸のご盤や研磨機などの電動工具		
	つくる	材料用具	[1780] 彫刻などの立体に表すこと、生活に役立つ器物や装飾品を作ること		
			粘土、木、石、紙、布、金属、プラスチック、スチレンボード、ニス、水性・油性塗料		
		題材	○彫刻や立体の題材…人、動物、乗り物、建物など ○工芸品の題材…織物、紙工、革工、木工、金工、七宝焼き、焼き物の器物		
	鑑賞	[1781] 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 例) 鑑賞活動、美術館見学	[1782] 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。 例) 鑑賞活動、美術館見学		
		[1783] 生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 例) 国や地域などによる表現の違い等に気付かせる。	[1784] 生活の中の美術や文化遺産などのよさや美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 例) 国や地域などによる表現の違い等に気付かせる。		
共通事項	[1785] 形や色彩、材料や光などの働きを理解すること。 例) ○明るさ、鮮やかさを作品制作の中で扱う。 ○固い、軟らかいなどの性質の違うものを作品制作の中で扱う。 ○光を通す素材、反射する素材等を作品制作の中で扱う。 ○大きさの違う形や繰り返しの形等を使った作品制作を行う。	[1786] 形や色彩、材料や光などの働きを理解すること。 例) ○明るさ、鮮やかさを作品制作の中で扱う。 ○固い、軟らかいなどの性質の違うものを作品制作の中で扱う。 ○光を通す素材、反射する素材等を作品制作の中で扱う。 ○大きさの違う形や繰り返しの形等を使った作品制作を行う。			
	[1787] 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解すること。 例) 特徴を何かに見立てたり、心情と関連づけたりする。	[1788] 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解すること。 例) 特徴を何かに見立てたり、心情と関連づけたりする。			

領域	項目	T6	T7	H 理 科
生命	植物の発芽、成長、結実	[1789] 植物は、種子の中の養分（でんぷん）を基にして発芽する。 例) ヨウ素液を使ってでんぷんの存在を調べる。 例) 種子の胚の部分の切り取り、正常の種子と発芽の状態を比べる。	[1804] 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されている。 例) 呼吸を集めて石灰水にくぐらせると石灰水が白く濁る。	人の体のつくりと働き
		[1790] 植物の発芽には、水、空気及び温度が関係している。 例) 水や空気の条件を一定にして、温度の条件を変えて調べる	[1805] 食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出される。	
		[1791] 植物の成長には、日光や肥料などが関係している。 例) 適した環境とそうでない環境を設定する（日向と日陰等）	[1806] 血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいる。	
動物の成長	[1792] 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができる。 例) 花粉を観察したり、風や昆虫などによって花粉が運ばれることが分かる。	[1807] 体内には、生命活動を維持するための様々な臓器がある。 例) 生命を維持するための臓器の名称と体内における位置を知る。	生物と環境	
		[1793] 魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれて中の様子が変化してかえる。 魚を実際に計画的に育てて観察する。実体顕微鏡等を用いる。雌雄で体の形状が異なることや、卵の中には育つために養分が含まれていることを捉える。		[1808] 生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きている。植物は日光に当たると自らでんぷんを作り出している。
		[1794] 人は母体内で成長して生まれる。 映像や模型等の資料を活用する。 へその緒を通して養分をもらって成長していくことを捉える。		[1809] 根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出される。 例) 色水を吸わせ、ビニール袋を被せて日の当たる場所に置く。（水の通り道や蒸散された水滴に色がつく） [1810] 生物の間には、食う食われるという関係がある。 例) 食物連鎖 [1811] 人は、環境と関わり、工夫して生活している。 例) 寒い地方では天然の冷蔵庫である畑の中に野菜を貯蔵する。日の日差しを遮り室温を下げるために植物のカーテンを作る。
地球・自然	流れる水の働きと土地の変化	[1795] 流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがある。	[1812] 土地は、礫（れき）、砂、泥、火山灰などからできており、層をつくって広がっているものがある。また、層には化石が含まれているものがある。 例) 地盤沈下	土地のつくりと変化
		[1796] 川の上流と下流によって、川原の石の大きさや形に違いがあること。 例) 上流では浸食が、下流では堆積がよく見られることが分かる。	[1813] 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできる。 例) 自分たちが住んでいる土地はどんなつくりになっていてどんなできかたをしているか。	
		[1797] 雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場面がある。 自然災害となることもある。 例) 人工の流れをつくったモデル実験を行う	[1814] 土地は、火山の噴火や地震によって変化する。 例) 関東大震災や東日本大震災、硫黄島沖噴火で土地はどのように変化したか。	
地球・自然	天気の変化	[1798] 天気の変化は、雲の量や動きと関係がある。 例) 雲には様々な形や量、動きがある。	[1815] 月が日によって形が変わって見えるのは、月が太陽に照らされている部分の日によって変わるから。月と太陽の位置関係は、月が輝いている側に太陽がある。	月と太陽
		[1799] 天気の変化は、映像などの気象情報を用いて予想できる。 例) 天気はおよそ西から東へ変化する 例) 乱層雲や積乱雲	[1816] 太陽の位置は季節によって違うため日の出から日没までの時間は季節によって違くなる。	
物質・エネルギー	物の溶け方	[1800] 物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらない。 例) 100gの水に10gの砂糖を溶かすと110gになる	[1817] 植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができる。	燃焼の仕組み
		[1801] 物が水に溶ける量には限度がある。 例) 水の温度や量などの条件を制御しながら調べる	[1818] 酸素には物を燃やす働きがある。酸素がないと物は燃えない。 例) 燃える前と燃えた後では植物体の性質が変わる。（木→墨、鉄→酸化鉄）鉄は電気を流すが酸化鉄になると電気を通さなくなる。	
		[1802] 物が水に溶ける量は水の温度や量、溶ける物によって違う。また、この性質を利用して、溶けている物を取り出すことができる。 例) この性質＝高い温度で物を溶かした水溶液を冷やすと、溶けた物が出てくること。水溶液の水を蒸発させると、溶けた物が出てくること	[1819] 空気には、窒素、酸素、二酸化炭素が含まれている。 例) 物が燃えると空気中の酸素が使われ二酸化炭素が出るため、空気中の酸素の量が減り二酸化炭素の量が増える。そのため物を燃やしすぎると空気中の二酸化炭素の量が増えすぎ温暖化現象が起こる。	
	電流の働き	[1803] 乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わる。 例) 様子を図や絵、写真で示したり、「電流」「直列つなぎ」「並列つなぎ」と言う言葉を使用したりする	[1820] 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがある。 例) リトマス紙を利用して、土の性質を知る 例) ジュース（炭酸水は酸性、水道水は中性）	水溶液の性質
		[1821] 水溶液には、気体が溶けているものがあること。 例) 石灰水、アンモニア水等	[1822] 水溶液には、金属を変化させるものがある。 例) 10円玉はお酢（酢酸）につけると酸化した銅が溶け綺麗になる	
		[1823] 力を加える位置や力の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性がある。 例) 支点、力点、作用点	[1824] 身の回りには、てこの規則性を利用した道具がある。 例) はさみ、柱抜き、釘抜き、ペンチ	
	電気の利用	[1825] 電気は、つくりだしたり蓄えたりすることができる。 例) 水力発電、風力発電、火力発電 例) 充電器、電池	[1826] 電気は、光、音、熱、運動などに変換することができる。 例) 照明、電化製品、モーターで動く機械等	電気の利用
		[1827] 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具がある。 例) コンデンサー等の蓄電器		

I 社会		41	
領域	項目		
社会	社会参加と生き残り	[1828] 地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身に付ける。 【18歳成人】	[1829] 社会の中で互いに協力し、社会生活に必要な知識や技能を身に付ける。 【自立した生活】
		[1830] 社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現する。	[1831] 社会生活の中で状況を的確に判断し、国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現する。 例：日本国憲法（権利と義務）、選挙権の行使、模擬選挙（生徒会選挙）
		[1832] 社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解する。 例：日本国憲法（国民主義、基本的人権の尊重、平和主義）、民法（18歳成人）	[1833] 社会の慣習、生活に關係の深い法やきまりを理解する。 例：自動車運転免許、商標、選挙権
		[1834] 社会生活を営む上で大切な法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現する。 例：道路交差法、建設費、労働基準法（労働）、最低賃金、健康保険、契約トラブル	[1835] 社会の慣習、生活に關係の深い法やきまりの意義と自分との関わりについて考え、表現する。
		[1836] 生活に關係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性を理解する。 例：公共職業安定所（求職登録、職業相談）、保健所、税務署	[1837] 地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解する。 例：ダム、灯台、防災拠点
		[1838] 生活に關係の深い公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現する。 例：電車・バスの利用方法、職業安定所への職業相談、役所に住民票を取りに行く、福祉サービスの申請に行く、年金の申請を行う等利用の仕方や必要性が分かる	[1839] 地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現する。 例：飛行機、船の利用
		[1840] 日本の政治の基本的な仕組みや働きについて理解する。 例：三権分立（立法、行政、司法）、政治への理解（選挙で選出される、多数決によって法律や予算が決まる）	
		[1841] 国や地方公共団体の政治の取組について調べ、国民生活における政治の働きを考え、表現する。 例：国や県の予算と自分の生活とのつながりを調べる	[1842] 生活に關係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現する。 例：選挙、租税（国や住宅の価値、教育などに充てられている）、年金（国民年金、厚生年金、障害年金の仕組みや手続き）、保険、福祉（手帳を活用した福祉サービス）
		[1843] 自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害が国土と国民生活に影響を及ぼすことを理解する。 例：地層構造（地形）や資料の活用 ※理科（気象）との関連 地震、津波、火山、煙霧	[1844] 自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解する。 例：堤防、津波避難場所、ハザードマップ等 地形や気候に応じた国土の事業
		[1845] 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害が国土の環境や国民の健康に影響を及ぼすことを理解する。 産業の発展、生活様式の変化、都市化等による公害の発生（大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）	[1846] 国土の環境保全について、自分たちができることを考え、表現する。 例：破壊された自然環境の回復には時間がかかること、生活環境の維持・改善に配慮した行動をすること、自分たちに何ができるか考える。
[1847] 災害の種類や発生時の位置や時期、防災対策などに着目して自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、調べたり考えたりして表現する。 例：自然災害について調べる	[1848] 国土の環境保全について自分たちができることを考え、表現する。 例：防災対策について調べる		
[1849] 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目し公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現する。 例：公害の発生と改善、環境と健康な生活を関連付けて考える			
社会	職が国の地理や歴史	[1850] 日本の食料生産は自然条件を生かして営まれていること、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解する。 例：米（稲作）、【必須】、野菜、果物の農作物、畜産物、油（魚油）、 土地や気候を生かして食料が作られている。生産量は生活と関連して変化している。	[1851] 日本では様々な工業生産が行われていること、国土には工業の盛んな地域が広がり、重要な役割を果たしていることを理解する。 工業生産＝原材料を加工し形や性質を変えたり製品を組み立てたりして生活に役立つ製品を作り出すこと。 例：金属工業、機械工業、化学工業、食品工業
		[1852] 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解する。 例：品質を高める工夫、輸送や販売の工程で費用が発生することを調べる	[1853] 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解する。 例：自動車産業（部品製造と工場との関係）、産業用ロボットの活用、技術革新
		[1854] 生産物の種類や分布、生産量の増加などに着目して、食料生産の現状を捉え、国民生活が国民生活に果たす役割を考え、表現する。 例：どこでどのようなものが生産されているか、食料生産と生活を関連付けて考える	[1855] 工業の種類、工業の盛んな地域の分布などに着目して、工業の発展が国民生活に果たす役割を考え、表現する。 例：製品と生活の関連（価格や安全性、利便性、パリアフリー等々人の願いが工業生産により実現する）
		[1856] 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。 例：食料生産にかかわる努力や工夫、土地、自然条件や需要との関連、スーパーやファミレスの食品が何が含まれているか考える、見字、インターネット等。	[1857] 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。 例：工場などのために関連しあっているか、どのような技術が生かされているか
社会	産業と生活	[1858] 大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解する。 例：放送、新聞、販売、運輸、観光、医療、福祉等で、コンピュータや情報通信サービスを享受し生活が向上していること、自由の個人情報の保護、適切な取り扱い。	[1859] 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現する。 例：インターネットや様々なメディアの活用、ネットでの商品購入、ICカードでの交通機関の利用
		[1860] 日本の国土の地形や気候の概要を理解する。 例：山が多く平野が少ない、南と北、日本列島は太平洋側の気候が強い、 人々は自然環境に適応して生活していることを理解する 例：自然条件を生かして生産、観光等の産業があること	[1861] 世界における日本の国土の位置、国土の構成、国土の範囲などを大まかに理解すること。 例：世界の大陸、海洋、日本との位置関係、日本の主な名称、位置、気候、産業、資源。
		[1862] 地形や気候などに着目して、国土の自然条件や自然環境から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれと国民生活との関連を考え、表現すること。 例：国土の位置と地形、気候の関連による国土の特色 神奈川県と他の地域との違い、修学旅行に関する調べ学習（発表）	[1863] 世界の大陸と主要海洋、主要国の位置関係や自然環境の特色などに着目して、日本の国土の様子を捉え、表現する。 例：世界の中での日本の位置や国土の範囲について調べる（竹島、北方領土、尖閣諸島）
		[1864] 日本の歴史上の主な事象を手掛かりに、関連する先人の業績、優れた文化遺産などを理解する。 例：文化遺産	[1865] 日本の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子の変化を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解する。 例：他の時代と現代とを比較し、生活の変化を理解する
社会	外国の様子	[1866] 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、日本の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現すること。 例：生徒が興味のある歴史的な人物（肖像画、伝記、逸話等）、文化遺産等について、修学旅行等で訪れた地域の博物館で具体的に学ぶ。 歴史を順番的に取り上げてよく、	[1867] 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、日本の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現すること。 例：世の中の様子（変化、人々の動き等）について調べる
		[1868] 異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解する。 例：国旗を尊重する	[1869] 日本は、平和な世界の実現のために国際社会の一員として重要な役割を果たしていること、海外の発展のために協力や力を果たしていることを理解する。 例：国際連合、ユネスコ、教育や医療・農業などで諸外国の発展に貢献していること
社会	外国の様子	[1870] 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いについて考え、表現する。 例：伝統舞（舞い、歌い）で伝統文化や習慣を伝える。その国の地理的環境、気候等と特色との対応。	[1871] 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際社会において日本が果たしている役割を考え、表現する。 例：地球規模で発生している課題の解決策を考える

領域	大項目	中項目	小項目	T6	T7	
職業分野	職業生活	働くことの意義	働くことの目的	[1872] 社会の仕組みがわかり社会の一員であることを理解する 例) 賃金を貰って生計を維持する、働く場に所属する、役割を果たす	[1873] 社会の仕組みがわかり社会の一員として働く意義を理解する 例) 自分の仕事が社会貢献に繋がる。勤労。	
			役割	[1874] 意欲や見通し、責任をもって自分の仕事に取り組む 例) 作業日誌に目標を記入し、それを達成できるように取り組む	[1875] 自分も他者もより良い仕事ができるように協力して環境づくりをする 例) 自分だけでなく、全体で作業に必要な物を準備する	
			達成感	[1876] 目標を決め主体的に取り組む 例) 目標を立てて取り組み、取り組んだ内容を振り返る。振り返りを生かし、自ら目標を設定し取り組む力を育成する	[1877] 計画性をもって主体的に取り組む 例) 出来高表等を用いて、自分の作業スピード等を意識しながら取り組む	
		職業生活に必要な知識	職業生活に必要な知識	[1878] 職業生活に必要な実践的な知識や技能を知る 例) 職場の組織の理解、労働条件(休暇の取り方等)、健康保険等の制度	[1879] 職業生活に必要な知識や技能を生かした作業を実践する 例) 資格の取得、福利厚生、年金等の理解	
			材料や道具 機器等の扱い	[1880] 物の配置や動線を工夫して、安全性と作業効率を高める	[1881] 自分だけでなく周囲の位置関係を考え、物の配置や動線を工夫する	
			生物等の扱い方 及び生産や生育 活動等に係る基 礎的な技術	[1882] 生産に関わる工程や技術について理解する 例) ジャム、押し花、パン等の製作・保管技術		
			質(確実性)	[1883] 手順を順守し作業をする	[1884] 質の良し悪しがわかり、より質の良いものを生産することができる	
			量 (スピード)	[1885] 出来高数を意識して作業を進める	[1886] 期日から逆算して作業を進める	
			体力	[1887] 連日、立って仕事をする。	[1888] 重いものを運ぶ等の力を使う作業ができる	
			安全・衛生	[1889] 危険を発見したら報告する	[1890] 危険発生前に気づき報告し、予防する	
			報告・連絡・相談	[1891] 決められたタイミングで報告・連絡・相談をする	[1892] 報告・連絡・相談の意味を理解し主体的に行う	
			計画性	[1893] 作業の内容がわかり、取り組んでいる作業を説明したり次の工程を他者に伝えたりする	[1894] 担当する作業を理解し、準備や片づけにおいても主体的に行う	
			職業生活に必要な態度	指示や説明の理解	[1895] 自分が正しく理解できているかを確認をする	[1896] 指示の不明点を質問する
				協力	[1897] 様々な年齢の人と協力して作業する	[1898] 初めての場所や初めての人とも協力して作業する
				責任感	[1899] 最後まで自分の仕事に責任を持って取り組み、終わらなかった作業の処理について指導者に判断を仰ぐ	[1900] 毎日出勤(登校)し、決められた内容の作業や活動をこなす
				持続性/集中力	[1901] 決められた時間、一定のスピードで作業を続ける	[1902] 決められた量を終わらせるために作業スピードを調整する
				健康管理	[1903] 職業生活に必要な健康管理を行う 例) 体調を考慮した食事や睡眠時間の確保、決められた休憩時間の有効活用	[1904] 職業生活に必要な健康管理を自主的に行う 例) 歯科検診や健康診断の定期的な受診
		社会の仕組みを知る	[1905] 相談ができる機関として、各市区町村の福祉課等の役割などについて知る			
		作業や実習等との関連	[1906] 学んだ内容を実習で実践する			

領域	項目	中項目	T6	T7
職業分野	情報機器の活用	情報機器の操作	[1907] 基礎的な操作に加え、発展的な操作の仕方も知る 例) ショートカットキーを覚える。	[1908] 発展的な操作の仕方を理解し、活用する 例) ショートカットキーを駆使して作業時間を短縮する。
		コミュニケーションと情報デザイン	[1909] 情報を整理し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える 例) 表に整理、図やグラフによって可視化、ページレイアウト等	[1910] 目的や受け手の状況に応じて、適切かつ効果的な伝達方法を考える 例) WEBページ、絵コンテを作成
		情報社会の問題解決/データの活用	[1911] 情報技術を活用して問題を知り、解決する方法を知る 例) インターネットでの路線検索の方法を知る 例) 図書室の蔵書検索	[1912] 情報技術を活用して問題を知り、解決する方法を身に付ける 例) インターネットでの路線検索で、自分の携帯電話で目的地まで検索する 例) コンサートチケット予約サービス
		ルールやマナー / 情報リテラシー	[1913] 情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知る 例) 不特定多数の人に聞こえるような場所でパスワードを言わない	[1914] 情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する 例) フィッシング詐欺や不正ログイン等への対応を身につける、通販サイト等のパスワードを全て同じにしない

領域	大項目	中項目	T6	T7	I
家庭分野	家族・家庭生活	自分の成長と家族	[1945] 自分の成長やこれまでの家族とのかわりを振り返り、家庭生活の大切さや役割を理解する。	[1946] 自分の成長や家族と家庭生活のかわりを理解し、家族とのより良いかわり方について工夫する。	I 家庭 生活
		家庭生活と役割	[1947] 家庭における役割や地域との関わりについて調べ、協力し合うことの大切さを知る。	[1948] 家庭における役割や地域との関わり の大切さを理解し、より良いかわり方について考え工夫する	
		家庭生活における余暇	[1949] 健康管理や余暇の過ごし方について調べ、実践する。	[1950] より良い健康管理や余暇の有効な過ごし方について調べ、実践する。	
		乳幼児や高齢者などの生活	[1951] 乳幼児や高齢者などの生活の特徴、乳幼児や高齢者などとの関わり方について気付くこと。	[1952] 乳幼児や高齢者などの生活の特徴が分かり、乳幼児や高齢者などとの関わり方について理解すること。	
			[1953] 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、表現すること。	[1954] 乳幼児や高齢者などとのよりよい関わり方について考え、工夫すること。	
		家族や地域の人々との関わり	[1955] 地域生活や地域の活動について調べ、その役割を理解する。	[1956] 地域生活や地域の活動について調べ、役割や課題を見つけ、より良い関係について考える。	

領域	大項目	中項目	小項目	T6	T7	
衣食住の生活	調理の基礎	食事の役割		[1957] 生活の中で食事が果たす役割について考え、理解する 健康に良い食習慣について考え工夫する (例) 5大栄養素とそれぞれの栄養素の特徴を知り、食品をグループに分類する。	[1958] 食事のバランスと栄養素、運動の関係性を理解し、自分に必要な量を組み合わせて摂る (例) 三食食品群や5大栄養素を理解し、栄養バランスを意識して1日の献立を考える。	
		安全・衛生	食品の保存方法と保存期間	[1959] 食品の腐敗や食中毒と関連づけて保存方法や保存期間を理解する		
			冷蔵庫や冷凍庫の役割	[1960] 冷蔵庫や冷凍庫、野菜庫等の機能と管理の方法を理解し、適切に使う。		
			衛生	[1961] 魚や肉などの生ものの鮮度や品質の見分け方を知る	[1962] 調理器具の殺菌や生ものの加熱調理など、衛生に気をつけて調理する	
			ガスや火の扱い	[1963] ガスや火の危険性について理解し、適切に扱う		
		準備	身支度(衛生)	[1964] 毛髪が出ないように帽子等を身に付け、手指消毒をして身支度を整える		
			食の組み合わせ	[1965] 1日に必要なカロリーと主食、副菜、主菜のバランスを理解する。		
			分量を決める	[1966] 必要なカロリーを考えて調理をする		
			調理用具の準備	[1967] 調理のしやすさや効率を考えて用具をそろえる		
		調理の基礎	調理内容と工程		[1968] 準備から片付けまでの工程と時間の計画を立てる。	[1969] 準備から片付けまでの工程を考えながら作業に取り組む
				調理内容と工程	[1970] ある程度の工程数があり、様々な器具を用いた計量や包丁の切り方がある、火を使う調理例) 炊き込みご飯、豚汁、ハンバーグ、たこ焼き	
			計量	[1971] 目分量がわかる	[1972] 好みの味をイメージして分量を変える	
			材料洗い	[1973] 野菜の特性に応じた洗い方をするとともに、食品ロスがないように葉なども洗い、活用する		
			調理操作	皮むき器使用の皮むき	[1974] 包丁を使ってリンゴの皮向きができる	
				包丁での材料切り	[1975] 調理に応じた様々な切り方がわかり、実践できる	[1976] 彩や見た目を意識した切り方があることがわかる 例) 飾り切り等
				煮炊き	[1977] 揚げる、蒸すなどの火を使った調理や、複数の火を使った工程のある調理をする 例) 唐揚げ、シュウマイ、茄子の揚げ浸し	
			盛り付け・配膳	[1978] 人数分の配膳をする際に、食材が平等に分配されているかを意識して配膳する		
			後片付け	調理用具や食器	[1979] 食器や用具に汚れが残っていないか確認しながら洗い、拭いてしまう	
				調理室の清掃	[1980] ガス台を清掃する	
		ゴミの始末		[1981] シンクにたまったごみなどを生ごみとしてまとめ始末する		
		ガスの元栓の確認		[1982] ガスの元栓のしめ方がわかり、正しく扱える		
		衣服の手入れ	衣服の着方	[1983] 社会から求められる身だしなみを理解し、服装を選んだり身だしなみを整えたりする		
			手入れの仕方	[1984] 衣服の素材に合わせた手入れの違いがわかる ミシン等を活用して簡単な縫製をする ボタン付け		
		快適で安全な住まい	住まいの主な働き	[1985] 畳、座卓などの伝統的な住空間と洋式の住空間の特徴や違いがわかる	[1986] 安心して暮らすための家について考え、共同生活の空間や個人の空間を心地よい場所に整える	
			安全な住まい方	[1987] 地震や火事などを想定し、物の整理整頓や災害対策に取り組む		
			防犯に関する内容	[1988] 空き巣などの犯罪の種類がわかり、防犯の仕方を理解する (例) 空き巣が使う記号を知る 洗濯物の干し方 等		
			災害に関する内容	[1989] 自分の住む地域の災害リスク理解やハザードマップの活用		

領域	大項目	中項目	小項目	T6	T7	J
家庭分野	消費生活・環境	身近な消費生活	買い物の仕組みや必要な物の選び方	[1915] インターネットを介した通信販売等の支払方法と問題点を知る * 「なにを」「どのように」「どこまで」「知る”のか、を認知発達を踏まえて具体的な目標にしましょう。	[1916] 収支のバランスを理解し、計画的に金銭を管理する方法を知る。 * 「なにを」「どのように」「どこまで」「知る”のか、を認知発達を踏まえて具体的な目標にしましょう。	消費生活
		環境に配慮した生活	環境に配慮した物の使い方	[1917] 衣食住にかかわる資源が環境に与える影響を知り、環境負荷を減らす行動を取る 例) 食品ロスを減らす、風呂の湯を洗濯に活用する	[1918] 消費者としての自覚を持ち、自分の消費者としての行動が社会に影響を与えていることを知る。 例) サステイナブル、エシカルな消費	



領域	項目	T6	T7		
聞く・話す	知・技	[1919] 英語の音声を聞いたり、話したりして、日本語の音声との違いに気付く。	[1920] 英語の音声について、簡単な語彙を意識して聞いたり、話したりして、日本語の音声との違いに気付く。		
		[1921] 英語の音声が、身近な事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付く。 例) 食べ物・スポーツ・生活用品等	[1922] 英語の音声が、より様々な身近な事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付く。 例) 場所・感情・趣味等		
	思・判・表	[1923] 簡単な事柄について、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合う。	[1924] 身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合う。		
		[1925] 簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、読んだり、書いたり、イラストや写真などと結び付ける。 例：出身地、得意なこと、一日のスケジュール、週末の出来事、休暇の予定	[1926] 自分のことや学校生活などで身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き、それらを表すイラストや写真などと結び付ける。 例：学校での出来事や行事、友達のこと		
		[1927] 日付や時刻、値段などを表す表現について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取る。 例：自己紹介で、カレンダーを参考にして友達の誕生日を聞く 時計をみて友達の起床時刻を聞く	[1928] 日付や時刻、値段などを表す表現について、具体的な情報を聞き取る。		
		[1929] まとまりのある英語を聞き、必要な情報を聞き取る。			
		[1930] 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを自己紹介する。	[1931] 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを話す。		
		[1932] 挨拶をしたり、簡単な指示や依頼に応じたり断ったりする。 例：挨拶、自己紹介、買い物、食事、道案内、旅行	[1933] 自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり答えたりして伝え合う。 例：You like sushi. (繰り返し) Me too. (応答) How about you? (質問)		
		書く・読む	知・技	[1934] 英語の文字を見たり、読んだり、書いたりして日本語の文字との違いに気付く。	[1935] 英語の文字について、簡単な語彙を意識して見たり、読んだり、書いたりして、日本語の文字との違いに気付く。
				[1936] 英語の文字が、身近な事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付く。 例) 食べ物・スポーツ・生活用品等	[1937] 英語の文字が、より様々な身近な事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付く。 例) 場所・感情・趣味等
思・判・表	[1938] 活字体の大文字、小文字を区別して書く。				
	[1939] 相手に伝えるなどの目的をもって、慣れ親しんだ簡単な語彙などを書き写す。 例：行ってみたい国の国名を書き写す		[1940] 相手に伝えるなどの目的をもって、慣れ親しんだ語彙などを書く。 例) 行ってみたい国の国名を自分で書く		
	[1941] 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する。		[1942] 身近で簡単な単語を読む。		
	[1943] 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を発音する。		[1944] 慣れ親しんだ簡単な語彙などを、挿絵がある本などの中から識別する。		